

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】令和 2 年 7 月 30 日 (2020.7.30)

【公開番号】特開 2019-210483 (P2019-210483A)

【公開日】令和 1 年 12 月 12 日 (2019.12.12)

【年通号数】公開・登録公報 2019-050

【出願番号】特願 2019-146794 (P2019-146794)

【国際特許分類】

C 0 9 C 1/40 (2006.01)

C 0 9 D 17/00 (2006.01)

C 0 9 D 7/61 (2018.01)

C 0 9 D 201/00 (2006.01)

C 0 9 D 11/037 (2014.01)

C 0 9 C 3/04 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 C 1/40

C 0 9 D 17/00

C 0 9 D 7/61

C 0 9 D 201/00

C 0 9 D 11/037

C 0 9 C 3/04

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 6 月 3 日 (2020.6.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

粒子の平面性（最短長さ / 粒子断面長さ）が 0.95 ~ 1.00 である平面粒子を、60% ~ 100% の個数割合で含有し、

かつ、粒子の平均粒子径 d_{50} が、 $4\ \mu\text{m}$ ~ $13\ \mu\text{m}$ であり、

前記粒子の平均厚み t が $0.082\ \mu\text{m}$ ~ $0.12\ \mu\text{m}$ であり、

前記粒子の平均厚み t (μm) に対する平均粒子径 d_{50} (μm) の比 (d_{50} / t) が、90 ~ 159 である、アルミニウム顔料。

【請求項 2】

前記平面粒子を、60% ~ 98% の個数割合で含有する、請求項 1 に記載のアルミニウム顔料。

【請求項 3】

前記粒子の平均厚み t (μm) に対する平均粒子径 d_{50} (μm) の比 (d_{50} / t) が、90 ~ 149 である、請求項 1 又は 2 に記載のアルミニウム顔料。

【請求項 4】

前記粒子の、表面の平均粗さ R_a が 2 ~ 12 nm である、請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載のアルミニウム顔料

【請求項 5】

アトマイズドアルミニウム粉を、ボールミルを具備する磨砕装置により磨砕する工程を有し、

磨砕溶剤の体積に対する磨砕ボールの体積（磨砕ボールの体積 / 磨砕溶剤の体積）が 0 . 5 ～ 3 . 5 である、アルミニウム顔料の製造方法。

【請求項 6】

磨砕ボールの比重が 8 以下である、請求項 5 に記載のアルミニウム顔料の製造方法。

【請求項 7】

請求項 1 乃至 4 のいずれか一項に記載のアルミニウム顔料を含む塗料組成物。

【請求項 8】

請求項 7 に記載の塗料組成物を含有する塗膜。

【請求項 9】

請求項 8 に記載の塗膜を有する物品。

【請求項 10】

請求項 1 乃至 4 のいずれか一項に記載のアルミニウム顔料を含むインキ組成物。

【請求項 11】

請求項 10 に記載のインキ組成物を含む印刷物。